

## 令和元年度 地域貢献事業活動報告書

1 事業名称	地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業
2 事業推進者等	(責任者職名・氏名) 芸術・体育学系 国際理解・日本語教育 洞谷亜里佐 教授
3 学外の連携機関等	(連携機関等名) 上越市企画政策部 (担当者職名・氏名) 藤村勝之
4 事業の趣旨・目的	地域文化を見直す実技体験の中で、雁木町家の活用による教育普及活動へと広めていく方針である。そしてその繋がり役割として上越教育大学の教員と大学生が、地域のものづくりなどの伝統文化活動に関わり、職人の指導のもとに助言を行っていく。また、大学生企画による造形ワークショップを行うことで、生活に息づく鑑賞教育を提案する。このように、伝統文化教育の講座を町家と大学との連携で展開することにより、雁木という地域文化を生かした特色ある学習プログラムを開発することを目標とする。
5 事業活動報告	<p>① 7月25日(木) 山崎宏先生の講義を行なった。「日本美術文化論 1 混沌性」生活に息づく伝統文化について。対象; 学生・教員・一般</p> <p>10月9日(水) 上越市企画政策課係長藤村勝之の講義を行なった。「上越市の町家の活用について」対象; 学生・教員</p> <p>② 美術館との鑑賞教育の連携を行なった。馨女ミュージアム高田</p> <p>③ 地域人材(講師)や資源の活用を目的とした、地域の伝統文化のワークショップを企画した。(はじめに大学生が講師より活動の基本内容と指導者としての講義を受ける。次に学生は、アシスタントとして教育活動に参加する。)</p> <p>12月14日(土) 染色職人宇賀田正臣による「草木染め」を午前午後の2部式で行なった。 対象; 学生・教員・一般</p> <p>2月5日(水) きものの小川さんにて和服文化の鑑賞と実習を行なった。対象; 学生・教員・一般</p>
6 本事業で得られた成果	<p>地域社会と学校教育を融合させたものづくり教育を広く提示する事ができた。</p> <p>① 町家を生かした実習体験や鑑賞教育より、自分たちの地域での暮らしから感じる身近な文化に気づくことができた。</p> <p>② この事業に本学学生を積極的に登用することで、文化を通して地域の方々との交流が深まり、「地域の文化、雁木町家との連携」についての見識を高め、教育者としての資質を向上させることができた。</p> <p>日本の伝統文化理解教育の意義を明確化することにより国際的な意識が高まった。留学生にとっては日本の文化や高田の地域性について認識することができた。また、母国の文化との比較分析を積極的に試みる機会になった。</p>
7 その他 (成果物等の名称)	次年度は、市内の学校教育での伝統文化の指導状況について調査し、留学生との文化比較交流を考えている。

# 令和元年度 上越教育大学公募型地域貢献事業

-地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業-

## 講義 「日本美術文化論 ①混沌性」

### 実施要項

#### 1. 趣 旨

暮らしの中での伝統を楽しむ活動を大学と上越市で連携して行っています。

今回も生活に息づく日本美術の鑑賞教育を提案します。

伝統文化教育の講座を町家と大学との連携で展開することにより、雁木という地域文化を生かした特色ある学習プログラムを開発することを目標とします。

※この講座は大学が地域との連携を進めていくための「公募型地域貢献事業」であり、「地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業」として実施するものです。

#### 2. 概 要

未だ定義のない「日本画」とは一体何なのか？それは、日本文化全体を俯瞰した時に表れる共通点によって明確になります。日本文化の特質は、①混沌性、②等価性、③浮遊性、④連続水平性、⑤絶対性、⑥継続性、⑦一転性、⑧復原性の8つにまとめられますが、このうち①、②、③、④、⑤を平面表現したものが日本画だったのです。今回の講座では、日本文化全般にみられる「混沌性」についての講義です。

#### 3. 日 時・場 所

日時：7月25日（木）16:30～18:30

場所：美術棟4階401教室

#### 4. 講 師 山崎 宏

<プロフィール>

東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程中退

東京外国大学アジア・アフリカ言語文化研究所スワヒリ語研究生修了

著者：『やさしく学ぶ伝統技法 水彩で日本画を描く』グラフィック社

『日本画と日本建築の時空』青山社『脳がみるみる若返るぬり絵』6巻 西東社

現在：文星芸術大学・桜美林大学非常勤講師。私立高輪高等学校・

神奈川県立横須賀高等学校・神奈川県立上鶴間高等学校非常勤講師。

妙高夏の芸術学校講師

#### 5. 対 象 学生、教員、一般

**学生自由参加！ 「地域と伝統文化」 「場面分析演習」 「表現と鑑賞」**

「日本画表現」「日本画研究」の受講者は是非参加して下さい。

主催 上越教育大学美術洞谷研究室 電話 025-521-3542 mail/douya@juen.ac.jp

# 令和元年度 上越教育大学公募型地域貢献事業

-地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業-

## 「和装文化」に触れるー日本家屋（町家）で行う着付けや作法の実習ー

### 講義と実習

### 実施要項

#### 1. 趣 旨

今回は上越の町家で古くからお店を構えていらっしゃる、「きものの小川」さんに、和装の文化について講義を頂き、着付けや作法について実践する講座です。お店の建物も**第7回上越市景観デザイン賞、雁木部門「景観大賞」を受賞されました**。雁木の昔ながらの伝統的町家で、雪国の生活を感じながら実習を行うことができます。

※この講座は大学が地域との連携を進めていくための「公募型地域貢献事業」であり、「地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業」として実施するものです。

#### 2. 講座日程

日時 2月5日（<sup>水</sup>）9:00～13:00

場所 きものの小川 新潟県上越市本町7-3-22 Tel 025-522-3400

対象 上越教育大学学生 教員 定員 20人

一般市民（若干名。今までのワークショップに参加された方にご案内する）

#### 3. 講 師 小川奈々（きものの小川店長）

1981年11月21日 生まれ

2004年4月 日本女子大学文学部日本文学科卒業

2004年9月 北京語言大学 入学

2005年7月 北京語言大学 卒業

2005年9月～12月 就職先の会社の紹介で、京都の大徳寺龍光院に住み込みでお世話になる

2005年12月 株式会社貴久樹 入社

2008年12月 株式会社貴久樹 退社

2009年1月～現在 家業（きものの小川）に入る

# 令和元年度 上越教育大学公募型地域貢献事業

-地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業-

ワークショップ「草木染めを体験しよう」身近なモチーフを用いて

## 講義と実習

### 実施要項

#### 1. 趣 旨

今回は上越の浦川原地区で染色をされている職人さんから、自然の恵みをいただく「草木染め」の技法を学び実践する講座です。

この講座は大学が地域との連携を進めていくための「公募型地域貢献事業」であり、「地域の伝統文化を生かした共同教育推進事業」として実施するものです。

#### 2. 講座日程

(1)12月14日(土) 9:00~12:00

「草木染めを体験しよう」一身近なモチーフを用いる一

場所 上越教育大学美術実習棟2階造形室

対象 上越教育大学学生 教員 定員20人

(2)12月14日(土) 13:00~16:00

「草木染めを体験しよう」一身近なモチーフを用いる一

場所 上越教育大学美術実習棟2階造形室

対象 一般市民 定員20人 (小学生低学年は親子でお願いします。)

会費 1000円 (教材費シルクハンカチ他)

#### 3. 講 師 宇賀田正臣

2003年 長岡技術科学大学大学院修了

2019年 茨城県笠間市 かさまギャラリーロード・フェア に出展

2018年 東京都多摩市 多摩くらふとフェア に出展

第五回 栃木の匠展に佐野藍復活プロジェクトのメンバーとして出展

2017年 立山 Craft 2017 に出展

など、多くの展示会に出展。

※お問い合わせ 上越教育大学美術洞谷研究室 電話 025-521-3542 mail/douya@juen.ac.jp